

新潟県五泉市の精神保健福祉活動の展開

新潟県五泉市は人口約4万のニット産業と農業の町。1997年に初めての精神保健福祉の拠点、作業所「虹工房」ができた。孤立していた精神障害を体験した人々が仲間と出会い、町の中での生活を取り戻していった。住民の声を聞きながら保健活動を続けてきた保健師たちの思いの結実だ。地域の住民たちも動き始めた。障害者も住民の1人。町の主役は住民。それを自覚した時、新しい風をよぶ。